



地区インターアクト研修旅行を終えて

国際ローター第2510地区 インターアクト委員会

委員長 福見 隼人
(札幌東RC)

2022年8月1日から3年ぶりに地区インターアクト委員会での研修旅行が開催されました。今までの研修旅行は台湾への海外研修旅行が主な旅行先でしたが、新型コロナウイルス感染防止を考慮し、今年度は国内での研修旅行開催に踏み切りました。

研修旅行先を決めるにあたり、昨年は東北大震災が発生して10年を迎えたことから、地区インターアクトクラブでは、オンラインによる震災学習と仙台育英学園高等学校インターアクトクラブとの交流会を行っておりました。震災事前学習を経験したこともあり、研修先を東北地方に決定し研修内容の企画を進めていきました。

今回の東北研修旅行は、生徒17名・顧問教師4名・ロータリアン2名の合計23名での出発となり、1日目は仙台空港到着後松島へ移動し、遊覧船に乗船しガイドさんから震災当日のお話を伺いました。東北全般の被害が甚大であったわけではなく、松島は大小さまざまな島が点在していたことで津波の影響が少なかったことが分かりました。2日目は研修旅行のメインイベントでもある仙台育英学園インターアクトクラブとの震災・防災意見交流会が開催され、各々学校紹介や活動紹介、ご当地クイズやアイスブレイクで交流を深め、その後5グループに分かれて、東北大震災や胆振東部大震災時にどういった対応をしたのか、また、今は防災についてどのような準備・対策を講じているのか等意見交流を行い、当地区の生徒たちが活発に意見交流している姿が多く見受けられました。午後には、昨年度オンライン学習でお話を伺った地元語り部の方が運営している施設である岩沼みんなの家や千年希望の丘を見学し、津波から避難する方法やその後の対策について説明を受け、生徒達も真剣に聞き入っていました。津波で流された場所の活用についてもその後の現地施設を見学することができ、被災者の考えや希望といったものを感じました。最終日は石巻の街歩きで最新技術のアプリを用い、被災前後の街並みをガイドさんからの説明を伺いながら街歩きを行いました。その後地元の笹かまぼこ工場での笹かまぼこ作り体験や瑞鳳殿を見学し旅を締めくくりました。

